

商工

平成24年1月5日発行

No. 2

SHOKO
RIFU MATSUSHIMA

りふまつしま



ご近所に、商工会にご加入していない
お店（事業所）がございましたら、ご
協力の程お願い申し上げます。

「商工会に加入」の一声運動

～会員加入促進期間～

松島に浮かぶ朝日～力強く～

松島には260余りの島があります。地質は凝灰岩質で礫、泥、砂岩の層が重なり合う地層で、浸食されやすい地質となっており、断層活動や褶曲運動による東側部分の沈降、その後に海面が上昇し、高い尾根の部分が島として残り北西から南東に向かって点在する多島海となりました。5千年位前にほぼ現在の形に近い姿になったと考えられています。

写真には大黒島や毘沙門島等、昔この辺り一帯でたくさんの黒鯛が取れたことから目出度い七福神の名前を付けた島々の中から力強く昇る朝日が映し出されています。

新年のあいさつ

利府松島商工会 会長 福田 正朗



新春にあたり、会員の皆様におかれましてはお健やかに佳き新年をお迎えのことと存じます。

さて、昨年三月の東日本大震災では、未曾有の複合災害により大変多くの方々が被災されましたことに対し、衷心よりお見舞い申し上げます。幸い利府松島地区におきましては、甚大な被害は免れたものの、9ヶ月以上が経過した現在も本格的な復旧・復興にはまだまだ時間がかかる状況にあります。

このような中、我国経済はこれまでの景気低迷に加え、震災の影響に追い討ちをかけるように、円高進行に伴う産業空洞化の懸念や国内外の情

勢の混迷など、我々中小零細企業をとりまく環境は一層厳しさを増しております。

山積する諸問題を克服し新たな活路を拓いて行く為には、政府による強力な震災復興対策をはじめとする景気対策、中小零細企業に対する積極的政策支援が不可欠であり、今後も継続を強く要望するものであります。又同時に、個々の経営者自らが経営革新を図り急激で多様である時代の変化に即応できるような体質の強化も肝要であると思えます。

会員の皆様が、事業活力を失うことなく継続発展できるように、当会が果すべき役割は大変重要であると認識しております。様々な情報の提供や経営指導システムをご活用頂くと共に、皆様のニーズに対する提案も積極的に行って参りたいと考えております。

最後になりますが、会員の皆様にとりまして今年一年、平和で幸福な年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

「魅力と活力のある地域経済の創造による大震災からの復興を目指して」利府町長 鈴木 勝雄



新年明けましておめでとうございます。

はじめに、この度の東日本大震災により被災されました会員各位ならびにご家族の皆さまに衷心よりお見舞い申し上げます。

さて、昨年はリーマンショック以降回復基調が顕著であった日本経済も、千年に一度ともいわれる未曾有の東日本大震災の発生により、一転して悪化に転ずるなど、人的、経済的に多大な被害を受けました。

加えて、二次災害とも言える福島原発事故の発生などにより、日本の産業構造そのものが機能不全に陥り、被災地を中心に日本経済は悪化に転じ、その影響は長期に及ぶことが懸念されております。

そのため、町では、震災後の景気低迷や深刻化した構造課題の解消に対処するため、金融機関への事業資金の損失補填による融資枠の拡大や、復興の一助となるべく、地域経済の活性化を目的に、町内限定のプレミアム商品券の発行や売り出し事業に係る補助金を交付するなど、地域に根

新年のあいさつ

松島町長 大橋 健男



新年明けましておめでとうございます。

さて、昨年三月十一日発生した東日本大震災による町の被害は、町内全域に及びました。特に、津波被害の大きかった沿岸部では、家屋や観光施設等が甚大な被害を受けました。大震災以降、松島湾のかき養殖や「松島環境保全米」、「松島白菜」及び「松島筍」等、地場産品生産の再開とともに、

観光業をはじめとする各種産業の再建も進み、着実に復興が進んでおります。

さらに、瑞巖寺吉田老師の揮毫「前進松島」の文字が町の彼方此方に見られ、疲弊する町の経済状況に一筋の光りを差すように、勇気と元気を与えてくれました。この企画を発案いただいた、商工会青年部の皆様に感謝を申し上げます。

この様な中、大震災からの復興を目指すため、松島町震

差した魅力ある地域経済の創造に努めてきたところであります。

これらの事業が、本町商工業の大きな刺激材料となり、地元商工会会員の皆さまのますますの活性化につながればと考えております。

今年も、本町の経済を支え担う商工業に携わる皆さまの健全な発展のための支援に努めてまいりる所存ですので、震災からの復興、復旧の最中、多くのご苦労があるかと存じますが、会員皆さま方の一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。年頭のごあいさつといたします。

復興計画を策定いたしました。その基本理念として、「東北・松島の美しさと安全を継承し発進する復興のまちづくり」と題し、「復興」、「創造」、そして「貢献」を掲げました。

今後は、この計画に基づき松島町が力強く前進するため、様々な政策を全力で取り組んでまいりますので、皆様の更なるご協力をお願いいたします。

終わりに、今年の干支の辰にちなみ、皆様が飛躍する年になることをご祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

平成二十三年 利府松島商工会臨時総代会開催

利府松島商工会臨時総代会は去る九月十六日(金)午後三時三十分から総代本人出席四十八名、委任状出席二十四名、計七十二名の出席の下、利府松島商工会利府事務所で開催された。

開会に当たり、福田会長は「本日は、利府松島商工会松島事務所が、東日本大震災により多大な被害を受け、建物内での業務は会員及び役職員の安全性を脅かす恐れが大きいため、建物を解体処分し、その跡地に新たな事務所を建築すること、又、役員に欠員が生じたための役員補欠選任などを上程するので慎重な審



松島事務所解体工事

議をお願いしたい」と挨拶を行った。

議長に石川征一氏(松島支部)を選出後、議事に入り、第一号議案から第三号議案まで原案通り可決承認され、第四号議案役員補欠選任の件においては、指名推薦の方法による役員候補者の選考が、六名の選考委員会により慎重に行われ、副会長に斎藤 實氏(㈲斉藤設備工業所)、理事に佐藤浩樹氏(㈲松島佐藤新聞店)が推薦され、異議なく満場一致で選任された。

尚、今回選任された役員任期は、平成二十四年度の通常総代会までとなります。



起工式

【承認された議案】

第一号議案 利府松島商工会館の財産処分及び松島事務所建設承認の件

第二号議案 平成二十三年度収支補正予算(案)承認の件

第三号議案 平成二十三年度借入金最高限度額及び借入先承認の件

第四号議案 役員補欠選任の件

おめでとうございます
文化の日表彰



郷右近義光氏

去る十一月十七日、仙台国際センターにおいて宮城県文化の日表彰が行われ、平成三年に利府町商工会理事及び青年部長に就任し副会長、会長と歴任、永きに亘り商工会の運営はもとより、地域商工業の発展に尽力された功績により産業功労者として郷右近義光副会長が受賞されました。

～震災復興～ 2012 新春講演会 世界経済の現状からみる日本の役割

講師：手嶋龍一氏 外交ジャーナリスト・作家
元NHKワシントン支局長



9・11 同時多発テロ事件に際しては 11 日間連続で昼夜放送を担い、その冷徹な分析は視聴者の圧倒的な支持を得た。

2005 年にNHK から独立後発表したインテリジェンス小説『ウルトラ・ダラー』とその姉妹編に当たる『スギハラ・ダラー』は、総計で 40 万部を超えるベストセラーに。『インテリジェンスの賢者たち』『外交敗戦』『たそがれゆく日米同盟～ニッポンFSX を撃て』(いずれも新潮文庫)もまたロングセラーとなっている。現在は、慶応義塾大学大学院教授としてインテリジェンス論を担当し、外交・安全保障を中心に後進の指導にも積極的に取り組んでいる。日本テレビ系列の情報番組『シューイチ』やテレビ朝日系列『ビートたけしのTVタックル』など多数出演。

と き：平成24年2月1日(水)

開場 午後3時15分 開演 午後4時～5時30分

ところ：十符の里プラザ (利府町中央2-11-2)

お問合せ・申込みは…利府松島商工会利府事務所 (TEL356-2124)まで。なお、会場準備の都合上、1月20日(金)までご連絡をお願い致します。

震災復興に向けて

2011まつしま産業まつり

松島町の五団体が構成する地産地消実行委員会が主催する「2011まつしま産業まつり」が去る十月二十九日(土)松島町中央公民館駐車場の特設会場で開催された。



天気にも恵まれ大盛況!

当日は天候にも恵まれ、多

くの町民の方々が訪れ、恒例の餅まきやじゃんけん大会への参加、そして収穫の秋に相応しい地域野菜・新米の販売、各種の飲食コーナーを利用するなど、秋を満喫する一日でした。

商工会特設テントでは、復興応援抽選会を開催、津波により被災した松島海岸地域事業者の協力を頂き、店舗再開のPRを兼ね、取扱い商品を先着500名にプレゼントす

るとともに、餅まきで拾った餅の裏にラベルが貼ってあれば町内の名店「お菓子」を差し上げるなど大変好評をいただきました。

第五回梨まつり

利府町観光協会主催の「第五回梨まつり」が去る十月二日(日)グランディ・21(円形広場)の特設会場で開催された。

当日は晴天に恵まれ、延べ一万五千人を超える多くの皆さんが会場に訪れ、例年より甘みがあつて美味しい梨を買い求めたり、梨の「種とぼし」「皮むき」大会に参加するなど、秋の味覚を満喫した一日でした。



商工会コーナーに大行列

商工会特設テントでは、震

災復興イベントとして、町内の菓子製造事業所の協力を得て、市価の半値以下で「いま話題のクリームパン1000

「りぶ元気づプロジェクト」復興生活応援事業

「十符の里・利府」プレミアム商品券発行事業

十月九日午前十時より、

震災復興及び経済環境悪化に伴う、地域消費者への生活応援事業として購買意欲を向上・促進させ、利府町経済の活性化に貢献するため利府町より助成を頂き、プレミアム商品券の発行事業が行なわれました。開始時間前にも関わらずプレミアム商品券を求め多数の町民皆様が見守るなか、開会セレモニーが行われ、会長の挨拶並びに利府町長よりご挨拶を頂戴し販売が開始されました。五千円(十二枚綴り六千円分)を一セットと



商品券販売開始!

個)を利府町民に提供し、販売開始、1時間程度で完売するなど大変好評をいただきました。

し、一万セットを販売しました。

生活応援売出し「スタンプラリー」de抽選会

十一月九日、大型店を除く

参加店のスタンプ三個及び五個を集めて応募頂いた中から、四十二型テレビ及びホームベーカリー等家電、生活応援ギフト商品等百四十点が当たる抽選会が行われました。

また、震災復興の一助として、今回募頂いたスタンプ一つにつき二十円分を復興支援金として利府町社会福祉協議会へ寄付いたします。



売出抽選会

大キャラバンで宮城をPR 「食と観光キャンペーン」

東日本大震災以降、全国から寄せられた数多くの温かい励ましとご支援に対する感謝をお伝えするとともに、豊かな食の恵みと観光資源にあふれた宮城の魅力、また復興に向けて着実に歩む宮城の元気な姿をPRするため、県内総勢約六百五十名体制のキャラバン隊が十一月十五日に首都圏各所においてPR活動を実施しました。

本商工会エリアからは松島町の方々を中心に約百五十名が参加、首都圏の主要駅に分散、午後二時より新宿駅構内において商工会参加者による「宮城の観光パンフレット」や「ひとめぼれ試食米」等、約二千セットを配布し、宮城の食と観光、そして元気な宮城の姿をアピールすることが出来ました。



仙台駅構内での出陣式

震災復興等補助金説明会を開催

宮城県では、東日本大震災により甚大な被害を受けた中小企業者等の皆様に対して、県内において早期に再開していただくための支援補助金が平成二十三年九月十四日に施行された。

商工会では、いち早く地域商工会員に支援制度の内容を知らせるため、九月二十日（火）午後三時と午後六時三十分の二回に分け開催、延べ七十名の方々が出席された。説明会では、補助金交付に関する概要及び十月十二日までに書類提出が必要な申請書・事業計画書等の作成内容について説明した。尚、本支援補助金は「宮城県震災復興計画」に明記されており、平成二十五年年度までの三ヶ年間継続される計画となっている。



第1回説明会

【補助金の概要】

本補助金は震災により被災した施設（修復・建替）及び設備（修理・入替）に要した費用の一部を補助金として交付されるものです。

①商店復旧補助金等

事業所が全壊又はそれに準じる大規模な被害を受けた方
業種：卸売業・小売業・飲食業・運輸業・サービス業

補助率：二分の一以内
（上限三百万円、下限百万円）

※交付決定： 件

②中小企業施設設備復旧支援事業費補助金
生産施設、生産設備の被害を受けた方

業種：中小製造業
補助率：二分の一以内（上限二千万円、下限百万円）

③観光施設再生支援事業補助金
観光施設及びその設備の被害を受けた方

業種：観光地域（ホテル、旅館、民宿、観光集客施設、観光船）

補助率：二分の一以内（上限一千万円、下限百万円）

※交付決定：百六十九件

注）本補助金に関して①及び②について一月上旬に追加募集予定となっております。宮城県より具体的な情報が入り次第ご案内いたします。

「松島おとくーポン券」&「とくとくスタンプラリーde抽選会」実施のお知らせ

本会商業部会（鈴木秀治部会長）では、松島町民を対象に、震災復興に向けた地域消費者の需要喚起と生活応援に寄与するため、「松島おとくーポン券」を昨年十二月二十日に発行した。クーポン参加店は、主に町内小売店、飲食店の全三十二店が参加しており、各店独自のサービス内容が満載となっている。

また、今年度は参加店でクーポン券を利用し、五〇〇円以上の商品等を購入した方にスタンプ一個を進呈し、参加店三店から三個集めて応募すると、抽選で生活家電や生活応援ギフトが当たるといふ「とくとくスタンプラリーde抽選会」を併せて実施している。応募期間は一月二十二日（日）まで、一月二十五日（水）

▲「松島おとくーポン券」&「スタンプラリーde抽選会」チラシ

午後二時に松島町中央公民館にて公開抽選会を実施する。当選者へは商工会から景品の引渡し方法などについて直接連絡を行い、二月二十九日（水）までに景品の引渡しを行う予定となっている。

商店街を鮮やかに彩るクリスマスツリーを設置!



高城町商業振興会（渋谷秀夫会長）では、毎年恒例となっている「クリスマススタワイルミネーション」を昨年十二月十一日（日）、松島町の高城町中央広場に飾り付けた。商店主たちが手作りで作成したクリスマススタワイルミネーションは町内の商店街を鮮やかに彩り、町民たちの目を和ませていた。

青年部コーナー

「ワクワクカップリングパーティー2011を開催致しました」

平成二十三年九月二十五日、本会青年部主催の「ワクワクカップリングパーティー2011」を開催致しました。

当日は抽選で選ばれた男女各二十名の参加者のもと、松島センチュリーホテルでのランチパーティー、松島湾でのクルージング、マリニピア松島水族館でのフリータイム等で交流を深めて行きました。

最終的に四組のカップルが誕生し、大盛況のうちに終了致しました。

本事業では、真剣に結婚したい男女に、松島町の観光施設を利用した出会いの場を提供し、その結果、参加者男女各二十名のもと、四組のカップルが成立したことは、当初の目的を達成出来たと同時に本事業の必要性を再認識することが出来ました。

今後は来年度以降の開催に向けて、多くの意見を取り入れながら改善し取り組んで行

きたいと考えております。



松島湾クルージングの様子

「カップリングパーティーからゴールイン」

昨年七月十一日開催のカップリングパーティーでカップル成立し、本年三月二十六日に、本会青年部員櫻井和実さん・英子さんが晴れてゴールイン致しました。

本年度のカップリングパーティーの際には、「皆さんも素晴らしい相手と出会い、僕たちの様に幸せになって下さい。」と参加者に対し激励の言葉を送っております。



櫻井夫妻

「第5回 梨まつり」
「第6回 松島大漁かき祭り」
「磯島」にて復興支援大抽選会を開催致しました。

平成二十三年十月二日（日）、利府町 宮城県総合運動公園（グランディ・21）円形広場特設会場にて、「第5回梨まつり」、また平成二十三年十一月二十三日（水）、松島町 磯島にて「第6回松島大漁かき祭り」「磯島」が開催されました。

本会青年部では復興支援事業として、商工会ブースを利用頂いた方、また事前に新聞折込みにて周知したチラシを持参した方を対象に、限定500名の方に「空クジなし」の大抽選を開催致しました。抽選会では、「利府梨セット」、「LEDランタン」や「松

島海産物セット」、また「前進松島マグネット」が当たる等、大盛況のうちに終了することが出来ました。

今回は東日本大震災に伴う復興支援事業として実施し、地域支援に大きく携わることができました。また今後の本会青年部事業においても、更なる地域振興に寄与していききたいと思います。



抽選会の様子

「EM菌による松島町内の公衆トイレ清掃活動を行いました。」

平成二十三年十月三十日（日）、「住みよい地域環境づくり運動」の一環として、「EM菌によるトイレ清掃活動」を実施致しました。

当日は、参加青年部員が二

班に分かれて高城、磯崎、海岸、手樽地区の公衆トイレの清掃及びEM菌の散布による悪臭除去等、約二時間各班清掃活動を行いました。

三月十一日に発生した東日本大震災により、沿岸部では津波の被害を受け、衛生面の問題など多くの問題が発生しました。それらを踏まえ、青年部会議での検討を重ね、津波により被害を受けた地域の公衆トイレの清掃、また悪臭除去やバクテリアを除外する効果がある「EM菌」を使用したトイレ清掃活動を実施することとなりました。

今後も、商工会青年部活動を通じ、地域社会に貢献できるように、尽力していききたいと思っております。



清掃活動の様子

女性部コーナー

「梨まつり」

十月十日(日)、グランディ・21 円形広場において開催された梨まつりに出店、「お好み焼き」を販売しました。地元の新鮮な梨と、松島の甘い松島トマトを具材に取り入れ二種類のお好み焼きを販売したところ、熱々の香ばしい匂いに、予想以上の来場者の列ができました。



今回の出店に向けた料理講習会

又、部員からの協力で集めた品々でバザーを行いました。衣類から食器、手作りの手芸品など次々に来場者の手に渡り、売上金全額を町へ義援金として届けたいという部員の思いを果たすことができました。今後も、女性らしく元気を街づくりの一助に資す

ることを目的に、事業を展開してまいります。



会場にお好み焼きの香ばしい匂いが

「今年もエコキャップ運動を展開中です」

女性部では、昨年から引き続き「CO₂の排出抑制」と世界中で伝染病に苦しんでいる子供たちのために「ポリオワクチンの提供」をするため、エコキャップ運動を展開しております。

今年度は、四月二十三日より商工会窓口回収ボックスを設置、各イベント会場等でも回収して参りました。十一月三十日現在の回収状況は、皆様のご協力で百二十七・四kg(一三三七円分)のエコキャップが集まっています。引き続き、ご力をお願い致します。

所得税・消費税確定申告 個別指導のお知らせ

平成二十三年分の所得税・消費税確定申告個別相談を二月十五日～三月十四日の期間受け付け致します。

また、税理士による申告指導は左記日程となりますので、具体的相談がある方や、震災特例法による雑損控除、土地・建物の売買など例年と異なる申告になる場合にご利用ください。

なお、申告に必要な書類等については、地区別に別途ご案内いたします。

【税理士による相談日】

| | 利府地区 | 松島地区 |
|----|------------------|---------------|
| 2月 | 21日、28日 | 27日 |
| 3月 | 5日、7日、9日、12日、14日 | 2日、7日、12日、14日 |

【震災特例法による雑損控除について】

東日本大震災により、生活に通常必要な財産が損害を受けた場合、雑損控除を受けられる場合があります。

【雑損控除の対象になる資産の要件】

(一) 資産の所有者が次のいずれかであること

イ 納税者

ロ 納税者と生計を一にする配偶者やその他親族

(その年の総所得金額等が三十八万円以下)

(二) 生活に通常必要な住宅、家具、衣類などの資産

(事業用の資産や別荘、書画、貴金属等で一個又は一組の価額が三十万円超は該当しない)

【雑損控除として控除できる金額】

◎ 次のうちいずれか多いほうの金額

(一) (差引損失額) × 10%

(二) (差引損失額のうち災害関連支出の金額) - 5万円

【差引損失額の計算の仕方】

差引損失額 = (損害金額) + (災害関連支出の金額) - (保険金等により補てんされる金額)

※「損害金額」とは、損害を受けた時の直前の価値

※「災害関連支出の金額」とは、災害により滅失した住宅、家財などを取壊し・除去するために支出した金額

※「保険金等により補てんされる金額」とは、地震保険、被災者生活再建支援金のほか、市町村からの応急修理の助成金等

詳しくは塩釜税務署 個人課税第一部門へお問い合わせ下さい (三六二―二二五)

宮城仮想工業団地に参加しませんか？

現在拡大を続けている電子商取引を利用して、企業間取引の拡大にご活用下さい！ URL：http://www.miyagi-vip.jp/



※仮想工業団地とは

あたかも、企業が集積している工業団地のような状況をインターネット上に作り出すので、仮想の工業団地といわれています。インターネット上に各企業のHPを集約して掲載することで個々の企業だけでは目立たないHPを数的優位性で目立つようにすることもメリットの一つです。

詳しくは…利府松島商工会まで

新会員のご紹介

利府町

- ◇菅野逸郎税理士事務所（税理士）
仙台市宮城野区鉄砲町 82
代表者 菅野 逸郎
- ◇(株)新東北相互扶助会（土木建設業）
利府町神谷沢字化粧坂 10-28
代表者 相沢 浩信
- ◇東北マリン（船舶販売、修理）
利府町赤沼字浜田 101-6
代表者 菊池 富雄
- ◇古関風呂かまど店（住宅設備機器設置）
利府町菅谷台 2-20-10
代表者 古関 豊
- ◇住まいのアドバイザー-MASAKO（建築業）
利府町加瀬字十三塚 7-6
代表者 小岩 雅子
- ◇(株)フードケアリ（食品卸売業）
利府町花園 3-23-4
代表者 佐藤 利則

松島町

- ◇(株)リフォームサービス（建築業）
松島町磯崎字木戸 37-1
代表者 赤間 哲夫
- ◇梵天丸（遊覧船業）
松島町松島字普賢堂 13-9
代表者 菅野 晃

会員総数：771名（定款・特別会員除く）
平成23年12月21日現在

みんなで育て みんなで活かす

商工貯蓄共済

商工貯蓄共済は、ふやす「貯蓄」安心な「保障」活かす「融資」が一体となった保険です。万ーの場合の生命保障に加えて、事故や入院に備えた「医療保障特約型」もご用意しております。貯蓄共済の満期時には「満期金」が、医療保障特約型には、保険期間中に無事故であれば、「無事故給付金」が支払われます。

ご加入できる方：加入者（商工会の会員とその家族及び従業員）
被共済者（商工会の会員とその家族、従業員で年齢6歳～65歳（5年満期は70歳）までの健康な方。）

詳しい内容・お問合せ・資料請求はお近くの商工会へ／利府松島商工会 利府事務所 TEL.356-2124 松島事務所 TEL.354-3422

編集後記

今年四月一日より新たに動き出した「利府松島商工会」も震災の対応に追われる中、会報第一号で掲載いたしました新体制で、会員、職員一丸となって活発に活動を展開して参りました。

その中、震災復興の大きな飛躍を願う一つのプログラムとして「がんばろう宮城！」をスローガンに、商工会をはじめ県内の中小企業団体や観光協会などが手を取り合い、約六五〇名の「仙台・宮城『食と観光』首都圏大キャラバン」が結成され、宮城県知事をリーダーに東京都内の駅構内等で大々的なキャンペーンが行われました。宮城の食文化及び観光と共に、「絆」で結ばれている我々の心も伝わったのではないのでしょうか。

会報編集委員長 伏見守信

| | |
|-------------|-----------|
| 編集委員長名簿 | 委員長 伏見 守信 |
| 副委員長 佐々木 更三 | 委員 阿部 清隆 |
| 委員 鎌田 みつほ | 委員 佐藤 浩樹 |
| 委員 杉原 崇 | 委員 佐藤 浩樹 |